## 年間第1週 土曜日 6. 全ての人と共に生き る

## 2024/04/02

年間第1週・土曜日

6. 全ての人と共に生きる

ーキリスト信者が、自分のことばかりにかまけて、周りで起こっていることに無関心であってはならない。 共同生活のモデルはイエス・キリスト。

- 一「愛想のよい」という人間徳。
- 一共同生活の日々に必要な他の諸徳:感謝、率直、友情、喜び、楽観 主義、尊敬し合う事…。
- 6. 1 キリスト者は周囲の出来事に 関心を持たず、内に閉じこもること はできない。イエス・キリストは他 の人々とどう

かかわったら良いか教えている

主の呼びかけに応えた後、マタイは イエスと弟子たちと他の何人かが出 席する宴会を催しました。後者の中 にはマタイの友人である多くの徴税 人や罪人がいました。ファリサイ の律法学者は、イエスが罪人や徴税 人と一緒に食事をされるのを見て驚 き、弟子たちに「どうして彼は徴税 と言った<sup>1</sup>。

イエスはこのような様々な人々と一 緒にいることを楽しみにしておられ ます。イエスは一人ひとりを助ける ために来られたのです。健康な人は 医者を必要としませんが、病気の人 は医者を必要とするのです。私たち は皆、罪人ですから、少なくとも病 人のようです。イエスは私たちをわ けへだてしません。この場面で私た ちは、主が決して社会との付き合い を避けないどころか、むしろ、細や かにご覧になっているのを黙想する ことができます。イエスは、あらゆ

るタイプや身分の人々、有罪である 泥棒、あどけない純真な子どもたった。 ち、ニコデモやアリマタヤのヨセ、を のような教養も権力もある人な家の を規定の病の人、様々なのないや規定の病した。主のといか良くされました。 も仲良で見ると、身分や地位いとうなりが、すべての人を救いたりとかいるがはっきります。

主は招待されたり、時には主ご自身のほうから出向かれたりする、ベロアの友人がいました。ラザイエスです。イエカの友人だちの友」です。イエスに過越を行ったちの友と共に過越を近れる大ちな人もないます。子の大がですし、そのおできました。ことができました。。

イエスは家族に大きな関心を示しま した。家庭で最も大切なことは、他 の人々と仲良くすることを学ぶこ と、これに必要なすべての徳を実践 することです。家庭は社会的なつな がりを推し進めるために最も重要な 場です。ナザレでの隠れた生活はそ れを知ることができます。福音史家 は他にも沢山ある出来事よりも、イ エスがお二人に従っておられた⁴こ とを強調しています。イエスの自分 たちへの従順は、その年月の中でマ リアにとって忘れられない事柄の一 つでした。父である神の人間への愛 を描くために、主は息子への父親の 愛について述べておられます。誰が パンのかわりに石を、魚のかわりに 蛇を与えるだろうか<sup>5</sup>。 イエスはナ インのやもめの一人息子を生き返ら せました<sup>6</sup>。 主はそのやもめの寂し さーその若者は一人息子だったーと 悲しみをお憐れみになったからで す。十字架上の苦しみのさなかに主 ご自身は母を気遣い、母をヨハネに

委ねておられます<sup>7</sup>。 これはこの使 徒がどれほど主の思いを理解してい たかということです。そこでこの弟 子はイエスの母を自分の家に引き 取った8のです。その人の欠点や考 え方や特性がどのようなものであ れ、すべての人と仲良く暮らすこと を学ばなければならないので、イエ スは次のような、はっきりとした模 節を示されています。常に喜んで理 解し、ゆるすような友人を作る能力 を持ち、常に理解し、ゆるす心構え ができていて、人々に心を開く人に なるためには、イエスから学ばなけ ればなりません。キリスト者が、も し本当にキリストに従うなら、自分 の周囲に生じてくることに全く関心 も持たず、自分の中に閉じこもるこ とはできません。

6. 2 人間徳である親しみやすさ

生活の大部分は、エレベーターやバスを待つ列、病院の待合室、大都市

の交通渋滞に巻き込まれた時、ま た、住んでいる小さな村のたった一 つの薬局にいる時に会う人々との ちょっとした出会いから成り立って います。こうした機会は束(つか)の 間(ま)で一度限りのものですが、日 に何度も起こることで一生のうちに は数え切れないほどあります。キリ スト者にとって人々との出会いは、 同じ父をもつ者として、私たちにそ の人たちのために祈り、敬意を示す ために与えてくださった機会とし て、とても大切です。超自然の愛徳 を人に伝えるものとなる行儀良さと 礼儀正しさをもって、私たちは通 常、人々に接します。一人ひとり大 変異なっていますが、誰でも皆キリ スト者に何か、つまりキリストなら なさることを期待しているのです。

私たちも、家族や職場、また近所 で、性格や文化的・人間的な教養、 振舞い方が本当に多様な人々と付き 合っています。全員が、異なった人 格を持ち、異なった人間的、文化的な背景を持っています。ですの術(するその術(するを学ぶ努力が必要です。聖りが必要です。聖の術が要求する特別な徳行にを指摘しているを指摘している場合でです。他の多くの徳を含むて、相応しいの徳を含むするです。他の多くの徳を含むするを表してもの徳は、私たちが毎日出会うで人くのをは、私たちが毎日出会うで人くのをは、私たちが毎日出会うでしている。と楽しいものにしていると楽しいものにしている。

いわば人間関係の骨組みであるべきこの徳は、多分殆ど気づかれることはありませんが、なければ大変困したのです。というのも、人間関係、受徳に欠きやけでなるだけでなるだけでなるだけでなるだけでなるだけでなるであるとなるが緊迫したりまったりすることとその徳に関係のましみやすさとその徳に関係の

ある他の徳があれば、家庭、職場、 往来、近所の人たちとの毎日の生活 は楽しくなります。その徳の体嫌、 は、利己主義や激怒、不機嫌心は、 利己主義や別ないります。 は、無秩序、他者の好態度とはスト は、無秩序、他しないものとはスト ですす。 というな徳をするは、なります。 とは必要です。 とは必要でするとはいうのけるとはほとんど継続的に実行さればならないものだからです」

もし神の愛から実践するなら、 大者は、親しみ易さをであるの の多くの些細な行為を愛徳でするなど、 で変えるできます。さをしてまます。 で変えるでは、ののであるでは、 のので落ちまするでであるでは、 ののであるでは、 ののであるでは、 ののであるではます。 で変えるできます。 で変えるでは、 ののであるでは、 ののであるでは、 ののであるでは、 ののであるでは、 ののであるであるでは、 ののであるであるでは、 ののであるであるでは、 ののであるであるでは、 ののであるであるでは、 ののであるであるであるであるである。 していてまけれしばでまます。 はないばなもし、 はないがないばなまます。 はないばないが、 はないであるであるであるである。 はないであるであるであるである。 はないであるであるである。 はないであるであるである。 はないであるであるであるである。 はないがないないであるである。 はないはないないが、 はないがないが、 はないが、 はないがが、 はないががが、 はないがが、 はないがが、 はな なければならないが、嫌がられない よう、愛徳をもってそうしなければ ならない」<sup>11</sup>。

信仰と愛によって、キリスト者は兄弟を神の子とみなすことを学びます。神の子はいつも最大の敬意を払われ、注意と思いやりのしるしを受けるに値する者です<sup>12</sup>。 だからこそ、私たちは日々もたらされる何千という多くの機会に留意しなければならないのです。

6・3 他の徳もまた人々と共に過ご す毎日の生活に必要である。

感謝、思いやり、友情、朗らかさ、 楽観主義、相互の尊敬 …

福音は、イエスが一人ひとりを、尊敬をもって扱われたことを教えています。健康な人も病気の人も、金持ちも病気の人も、子どもも大人たちも、こじきや罪人も、どのような人に対しても、主は神であり人間でも

ある広い心をお持ちになっています。イエスはご自分の所にやって来る人々やご自分が探し出した人々の欠点や欠陥には心を留められません。私たちイエスに従う者は、時にはイエスに似ることがとても難しいのですが、そう望むべきだということは極めて重要なことです。

人々と一緒に生活しやすく、物事を もっと容易くするのを可能にする多 くの徳があります。たとえば、親切 と許しによって、人々自身とその振 舞いを、欠点や失敗を重視しない で、好意的に判断します。感謝に よって、受けた行為に対して応え、 「ありがとう」やそれに似た言い方 で感謝します。感謝の意を表すこと は難しくありませんし、大きな良い 結果をもたらします。周りの人々を 注意してみていると、驚くほど沢山 の奉什をしてもらっていることに気 が付きます。

好意と友情は、私たちが日々、人々 と付き合う上で大きな助けとなりま す。共に仕事をしたり、勉強したり する人たち、両親、子どもたち、共 に生活したり出会ったりする人たち を、友とみなすなら何と素晴らしい ことでしょう! 彼らを仲間や同僚と してだけでなく、友とみなしなさ い。そうすれば、私たちが友情を成 長させるための多くの人間徳、私利 私欲がない、理解する、協力する精 神、楽観主義、公正さを生きること を示すことになるでしょう。友情 は、兄弟姉妹、子どもたち、両親と の間、私たちの家族内で特に密接に することができます。友情は、完全 な神であり、かつあらゆる場で人間 徳を完全に実践される完全な人であ るイエスの模範を見れば、全く異な る年齢の相違をも克服することがで きます。

日々の人々との関係において快活で あること、それは、常に微笑んだ

り、出会う人々に喜びを与えたりす ることで表しますが、対話にも理解 にも自分を閉ざそうとしている多く の霊魂の扉を開きます。快活さは 人々を勇気づけ、仕事面で助け、生 活によって時々もたらされる多くの 矛盾を克服するように手助けしま す。憂鬱に陥りやすく、悲観的で、 克服するために戦わない人は、他の 人にとっても重荷で、厄介者になる ものです。快活さは他の人々を豊か にします。というのは、間に合わせ に作られたものではなく、神の子で あるという深い確信と認識によるも のから生じる内面的豊かさの表れだ からです。多くの人々は、自分たち が接するキリスト者から溢れる喜び と平和をとおして神を見出します。

お互いに尊敬することは他者との関係において欠くことのできないもう 一つの徳です。私たちは他の人々を 尊敬することによって、彼らをかけ がえのない神の似姿とみなすように

なります。神との個人的な関係の中 で、キリスト者は一人ひとりの中に 見られる神の似姿を尊ぶことを学ぶ のです<sup>13</sup>。 私たちは、理由は何であ れ、あまり愛想がなく、好意を持た れにくい面白みのない人々の中に も、神の似姿を見なければなりませ ん。人々と共に生活することによっ て、物を大切にすることも学びま す。物は神のものであり、人に役立 つものとしてあるからです。他の 人々を高める手助けをするために不 可欠な条件は、尊敬することです。 なぜなら、もし他者を抑圧し威張る なら、与える助言、正そうとする努 力や私たちの勧めの効果はなくなる でしょう。

イエスの模範によって私たちは喜んで他の人々のために心を開く生き方を好むようになります。いつも初めから好意をもって他の人々を理解し、認め、それを育てていくようになります。主の模範のお陰で、あら

ゆる人徳と、 大なが楽観的々のの、というでは、 大なが楽したが楽したが楽したが楽したが楽したが楽したのののでは、 大いではないではないではないでいる。 大いではないではないではないではないではでいる。 を関われているがでいるがでいるがでいるがでいます。 でいるのではないではないがでいるがでいるがでいます。 でいるのではないではないがではないがでいる。 でいるがにないるがにないるがにないるがにない。 でいるがにないるがにないるからではないるからではない。

理解することと密接な関係にあるのが、快く許す態度です。最も些細家の不和によって愛が冷たくな離れて愛が冷たりいる。 ない 私たちは哀れなもり、私たちはないましたらさればなりません。 きによっなければなりません。 きればない 聖母マリアに敬意を表

して、隣人への真の愛徳の細かい点 まで真剣に生きるために全力を尽く すことを決心して、祈りを終えま しょう。

- 1マルコ2・13-17
- 2 ヨハネ11・11
- 3マルコ11・3参照
- 4 ルカ2・51 参照
- 5 マタイ7・9 参照
- <sup>6</sup> ルカ7・11 参照
- 7 ヨハネ19・26-27 参照
- 8 ヨハネ19・26-27 参照
- 9 聖トマス·アクィナス 『神学大
- 全』2-2,114,1
- 10 聖フランシスコ・サレジオ 『信心生活入門』 3, 1

- <sup>11</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー 『拓』 4 2 9
- $\frac{1}{2}$  F.フェルナンデス,Anthology of Text, see Affability 参照
- $\frac{1}{2}$  3 聖ホセマリア・エスクリバー 『神の朋友』 2 3 0

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-I-do/ (2025/12/15)